

NEWS 02

円山動物園内に
新しい施設がオープン

より間近で動物を見ることが出来ます

昨年十月から整備していた円山動物園の三つの施設が完成し、リニューアルオープンしました。
オープンした三施設は、いずれも老朽化が進んでいたことから、改修を実施。来園者がより近くで動物を見ることが出来るようにしたほか、市立大学デザイン学部からアドバイザーをもらうなど、デザインにも工夫を加えています。新しくなった動物園に、ぜひ足を運んでください。
【詳細】円山動物園 ☎(621) 1426

エゾシカ・オオカミ舎



ガラス張りの観察所を挟んで放養場が広がっており、2階から敷地の全体を望むことができます。外ではエゾシカが1畝以内まで近づいてくることも。



こども動物園



北海道の野生動物を展示する「ドサンコの森」などを新設。館内の小さな森には柵がなく、エゾリスが走り回る様子をじかに見ることができます。



類人猿館



柵と堀を取り除き、壁をガラス板にしました。また、地面を土に変え、遊具を備えて、よりオランウータンの動きを楽しめるようになっています。

遊びに来てね！
待ってるよ！



7月から実施

負担軽減策のポイント

- ① 負担上限額を一部引き下げ
- ② 軽減の対象範囲を一部拡大
- ③ 所得の判定を原則本人と配偶者に限定

936 【詳細】障がい福祉課 ☎(211) 2
対象となる可能性のある方には、六月上旬にお知らせを交付しますので、確認の上、区役所に申請してください。

この軽減が適用される方には、新しい負担額を記載した受給者証を七月までに送付します。なお、対象範囲の拡大により今回新たに軽減の対象になる方は、申請が必要です。対象となる可能性のある方には、六月上旬にお知らせを交付しますので、確認の上、区役所に申請してください。

障害者自立支援法における障害福祉サービスの利用者負担について、七月から新しい軽減策が実施されます。
今回の軽減策は、障害福祉サービスの負担を、より一層軽くすることがねらい。昨年四月に実施された軽減策に加えて、負担の上限額の引き下げと、対象の拡大を行います。

負担の上限が下がり、軽減の対象が広がります

NEWS 03

障害福祉サービスの
利用者負担をさらに軽減

■障害福祉サービスの負担軽減の内容

サービスの種類	居宅・通所		施設入所
	18歳未満	18歳以上	20歳未満
障がいのある本人の年齢	対象が拡大		
所得、市民税の所得割の判定の範囲	世帯	世帯→本人+配偶者	世帯
負担上限額	市民税所得割28万円以上	37,200円	37,200円
	市民税所得割16万円以上28万円未満	37,200円→4,600円	37,200円→9,300円
	市民税所得割16万円未満	9,300円→4,600円	9,300円
	低所得2(本人の年収が80万円を超える市民税非課税世帯※)	【居宅】6,150円→3,000円 【通所】3,750円→1,500円	12,300円→6,000円
	低所得1(本人の年収が80万円以下の市民税非課税世帯※)	3,750円→1,500円	7,500円→3,500円

※いずれも預貯金などが500万円以下(世帯員が複数の場合は1,000万円以下)